

## 「授業改善のための学生アンケート」2018年度後期 顕彰授業における工夫

2019年5月17日

白百合女子大学 FD 推進委員会

2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」の顕彰授業における工夫をご紹介します。授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

**【参考】** 顕彰の対象となったアンケート項目は以下の9項目です。

- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

### 多人数部門

「絵本演習Ⅱ／絵本演習」 やた みほ（人間総合学部児童文化学科） 2018金2後期

※「絵本演習Ⅱ」は人間総合学部児童文化学科の前期科目、

「絵本演習」は文学部児童文化学科児童文学・文化専攻の通年科目で共通開講しています。

絵本演習Ⅱでは、2つの課題を出しました。1つ目は写真絵本の制作です。まず、ウォーミングアップとして私が準備した写真から数枚選んで文章をつけてもらい、その後各自で撮った写真にストーリーをつけて絵本にしました。ペット、風景、食べ物、人物。学生たちはスマホの写真を見ながらどの写真を選んでどんな文章をつけようか熱心に考えていました。足りないページ、イメージしても実際に撮れない写真はネット上から利用することも可能にしました。制作の途中、色々な写真絵本を紹介し、「写真絵本と写真集の違いは何か？」というテーマでレポートを書いてもらいましたが、各自新しい発見が得られたようです。

2つ目は「ドールハウス絵本」です。「白百合女子大学に住んでいる妖精や小人」をテーマに、彼らがどこに住んで何をして生活しているのか（衣食住。家族、仕事、友人関係など）を具体的に考え、絵や立体で妖精・小人の家を作って4コマ以下のストーリーにします。住んでいる場所（木、地面、図書館の本棚、チャペルなど）には実際に作ったドアを置いて写真を撮り、「白百合妖精マップ」を作成。春休み中に全員の作品を1冊の本にまとめて新年度に配布しました。制作の途中、世界の妖精・小人の絵本や漫画、アニメーションを紹介し、身近にどんな妖精がいた

らいいかを想像してもらいました。この授業で作ったキャラクターを演習や他の制作の授業で使って発展させる学生もいて、生み出したキャラクターには各自愛着を持っているようでした。

授業を進めるうえでの工夫としては、前年度の学生の作品を参考資料として取り入れたこと、手法の選択肢を増やして自分の得意なもので表現できるようにしたことです。先輩、友人が作ったものから受ける刺激はプロの作品とは違って身近なものであり、柔軟な発想力につながります。また課題を設定するにあたっては、完成作品のイメージを具体的な形で提案することで目標が定まり、発想の展開にも役立ったのではないかと考えています。



白百合女子大学 FD 推進委員会